



会報



DISTRICT 253
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

ス キ ー

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール
例会日 毎週火曜日 12:30 - 13:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 5775

会 長 上 野 三 郎
幹 事 佐 藤 順 治

全人類を 結びつけるために 奉仕せよ

SERVE TO UNITE MANKIND

W. ジャック・デービス

1977~78 国際ロータリー会長

第 942 号

1978. 1. 24 (火) (雪)

No.29

本日のプログラム

1. 点 鐘
2. ロータリーソング (我等の生業)
3. ビジター紹介
4. 会 長 報 告
5. 幹 事 報 告
6. 会員スピーチ (鉄鋼業の現況と将来) 板垣広志君
7. 人形劇の御礼
8. 出 席 報 告
9. 点 鐘

ビジター紹介

齋藤 順君 (日本酒小売) 温海R.C
加藤 広君 (電気工事) } 鶴岡西R.C
五十嵐 正雄君 (旅館)

スマイル

安藤 定助君 山形県メッキ工業組合設置運営永年幹事専務理事に就任され表彰されました。
新穂光一郎君 職員2名同時に1級建築士の試験に合格、そのなかに諸橋会員の右手中指接合手術をうけ試験に間に合いました。

会長報告

1. 交換学生ブレント君と会長、幹事、佐藤忠委員長、迎田委員長は1月18日市役所に白井市長訪ね挨拶をして参りました。又、同日1年間お世話になる鶴商学園高校を訪問し、齋藤校長先生はじめ諸先生並びに全校生徒に挨拶してきました。
2. ブレント君と同時にオーストラリアから来日した交換学生スザンヌ・マーガレットアンダースン嬢の歓迎会が、温海R.C主催で1月23日 万国屋で盛大に開催されました。ご案内をうけて会長、幹事、迎田委員長並びにブレント君が出席してきました。
3. 本日は雑誌週間の例会で、当初佐藤伊和治雑誌委員のスピーチを予定していたところ、4日～5日前に御本人から風邪気味で次の機会にしてもらいたいとお話がありました。本日は変更して板垣広志君のスピーチをお願いいたしました。
4. 今日11時から臨時理事会を開催しました。協議決定した事項をご報告いたします。
 - (A) 鶴岡駅改築に伴うハイヤー乗り場の移築について、移築費用が約94,000円かかるということ、又、利用期間も短いのでいろいろ意見が出たが、結論としては移築することに決定した。
 - (B) 広報委員長の角田博君がこのたび東北電気通信局の監査部長に転勤されるため退会されることになりましたので、後任の広報委員長を黒谷正夫君にお願いすることにいたしました。
 - (C) さきに2月14日の例会を 台中港区R.C訪問者が多いので2月13日に変更

することをご連絡申し上げておりましたが、親睦委員会主催のタラ汁会の日程の関係で2月12日(日)に再変更いたします。

■ 幹事報告

1. 例会日時、場所変更

(1) 鶴岡西R.C

2月3日(金)の当クラブ例会は恒例のタラ汁例会のため次の通り変更

と き 2月3日(金) 17:30

ところ 竹屋ホテル

登録料 4,000円

(2) 遊佐R.C

2月7日の当クラブ例会は節分例会のため次の通り変更

と き 2月3日(金) 12:30

ところ 遊佐町吹浦海禅寺

登録料 2,000円

2. 会報到着

(1) 酒田R.C (2) 小国R.C

3. 認証状伝達式の案内

(1) 日南中央R.C(宮崎県)

と き 3月19日(日) 12:00

ところ 式典 日南市文化センター 祝宴 日南市立油津公民館

登録料 会員 10,000円 家族 7,000円

申込期日 2月15日(水)

一 口 情 報 (シリーズ No.7)

ロータリーの理想と友愛より

ロータリー情報委員会

最近オマハのロータリアン、フレデリック・ジー・スミスとの会談の際、彼は衝動的に「一人人間は百万ドルという金の真の効用を何処に認めているのであろうか。何故に百万ドルは百万本のステッキ、百万本のネクタイ、その他百万の何物かの以上のものであるか」と著者に問うたので、著者は「習慣であらう」と答える外はなかった。もし個人の価値をその所有するステッキの数かネクタイの数を以って評価する習慣であったとすれば、ステッキ工場またはネク

タイ工場は昼夜3交替制を以て製造に従事せざるを得ないであろう。小児は懸命に砂山を築く。しかしこれは世の中に砂が乏しく貴重なるがためではなく、唯他の小児の山よりも自分の方を高く作りたい一心からである。小児は砂を積み、大人は黄金を積む。両者の動機には余り懸隔はない。望む所は単に所有とその支配権及び所有せざる者に対する優越感とに在るのみである。しかして両者の中少なくとも1つの点に於ては小児の方が聰明である。けだし黄金の蓄積にはミダス王が憐れにも晩年に至って悟れる悲しい経験があるが、砂山の堆積には後日の不愉快が残るようなことがない。財産獲得慾は奉仕の理想とは両立し得ない。

利得の感情が奉仕の後に従ったと言うことが無かったと考へてはならない。これもとより怪しむべきはあらずして、この教義は古くしかして依然たること山のごとくである。彼の奉仕の感情が視野の殆んど全面をおおって、他の何物をも顧みなかった人が古来多くあったと言う事実が存する。スピノザは彼を礼讃し彼に感謝する弟子が千金の寄贈を申し出た時立所にこれを退けた。この大哲学者は貧困が自己の高邁なる目的達成のために大切なるものであると考へたからであった。

■ 出席報告

本日の出席	会員数	68名	欠	阿部(公)君、早坂(源)君、半田君、五十嵐(三)君、石倉君、高橋(耕)君、三浦君、中野(清)君、斎藤(栄)君、佐藤(伊)君、佐藤(昇)君、金沢君、鷺田君、笹原君、丹下君、高橋(良)君、津田君、富樫君、中村君、諸橋君
	出席数	48名	席	
	出席率	70.59%	者	
前回の出席	前回出席率	69.57%	メア	阿部(襄)君—酒田 R.C 飯白君、五十嵐(三)君、石川君、玉城君、風間君、高橋(耕)君、三井(徹)君、中野(清)君、坂垣(広)君、新總君、山口君、富樫君、諸橋君—鶴岡西 R.C 中江君—外国 R.C
	修正出席数	63名	1 ッ	
	確定出席率	89.86%	クブ	